

ちょっとひと言!!

市民の声

広報委員が市民の皆さんに、
行方市に寄せる思いをイン
タビューしました。



● 年末の、この時期私たちの地域では、消防団が、防火・防犯を呼びかけて来ています。

私も経験者であり、多少、臆目にかけて頂きますが、有難い事だと思えます。身近でも物騒な事件が聞かれる中、一人暮らしの方などには、心強い存在になると思います。

防災以外にもその活躍が期待される半面、近頃は、団員の確保も難しくなっていると聞きます。一人一人の負担も重く大きくなっていると思えますが、地域の要請に応えられるよう頑張ってください。

(50代・男性)

● 最近、中学生になる長男が、自転車で帰宅途中に何と3匹のイノシシと遭遇。恐怖でわずか100メートル先の自宅まで帰ることができず、友達のお母さんに車で送ってもらった出来事がありました。実は、私自身もイノシシと3回も遭遇し、その都度、市役所に相談しました。最初の対応は「実害があったら、又連絡して下さい」との事でした。「もし、子ども達が登下校中に被害にあつたら」と思うと不安な気持ちです。最近は昼間の庭先などにも出没しているので、早急な対策をお願いします。

(50代・女性)

● 行方市は私の人生において、大切な場所です。

まず、働き始めた場所だからです。はじめは不安でいっぱいだった私を、地域や職場の方が温かく迎えて下さり、毎日を楽しく過ごすことが出来ました。

さらに、現在は結婚して行方市民になりました。霞ヶ浦でワカサギを釣ったり、地域の方の作った野菜を食べたり、地産地消の素晴らしさを実感しています。

行方市は、私にとって心優しい職場や地域の方々、そして新しい家族との縁を与えてくれた大切な場所です。

(20代・女性)

● 中学生の子どもがいますが、自転車で通学していて交通量が多い場所や歩道がない場所などがあり、とても心配です。

少子高齢化時代を迎え、予算的には大変だと思えますが、これからの子供達のために、やさしいまちづくりを行ってほしいと思います。

(40代・女性)

議会では、議会や市に対する要望、意見、あるいは「議会だより」を読んだ感想などをお待ちしています。

住所・氏名・電話番号を明記のうえ、議会事務局まで。



編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。行方市の皆さまにおかれましては、天候にも恵まれ、穏やかな正月を迎えられた事と存じます。

安倍政権のもとで日本は、デフレ脱却や好景気と希望に満ちた明るい話題も多くありますが、地方にとっては、消費税アップによる景気後退や地球規模で発生している異常気象など、心配な部分があるのも事実です。

昔から「終り良ければすべて良し」の言葉があるように、今年のスタートに勝る穏やかな年末を迎えられるよう、市民の皆さんと共に問題を乗り越え、私達も一歩一歩進んで参りたいと思っております。

より良い行方市を作っていくために一番大切なのは、市民の皆さん声です。どうか様々な場を通して積極的にまちづくりに参加して頂けるようお願いいたします。

平野 和

広報委員会

委員長 栗原 繁

副委員長 鈴木 裕

委員 大原功坪 小林 久

高橋正信 平野 和